

事業所名	グループホーム アネシス
日付	2008/1/23
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 社会福祉主事 認知症ケア専門士 社会福祉主事 介護福祉士 介護支援専門員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	少人数でなじみのある関係を大切に、ゆったりと個々のペースで生活できる家庭的な雰囲気を大切にし、隣接する小学校・幼稚園との交流・地域の行事に参加する等、地域に密着した生活が安心して過ごせるホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違え等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	個々の生活スタイルを尊重し、ゆったりと過ごせるようにする。また、季節感のある雰囲気作りを行い、笑顔と会話がはずむような環境作りを行うことに努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評 全体を通して（特に良いと思われる点など） ・医療法人機関との連携により、入居者や家族の方が安心して過ごされている。また関係機関の機能を活かして地域との交流・認知症の理解により地域に密着した生活が出来ている。 ・運営理念「明るく、あたたかく、愛をもって」をモットーに、少人数の馴染みのある関係を大切に、ゆったりと個々のペースを尊重した支援がなされている。 ・恵まれた環境に立地しているので、散歩や買物も便利で、また隣接の小学校の児童や保育園の園児との交流もあり、ホームに閉じこもらない支援ができています。 ・運営推進会議を活かした取り組みも軌道に乗り、地域の行事等の参加や「ケアケア交流講座」等を開催し、積極的に地域交流がなされている。 ・併設の施設との合同勉強会や事例検討会等で職員のスキルアップや情報を共有し、介護の質の向上・維持に努めている。 ・家族への連絡は、毎月の「アネシスたより」により、入居者の日頃の生活状態等や小遣い残金・個人情報に配慮した写真等が送付されている。 ・「職員さんの明るく、きめ細かい対応に感謝している」や「家庭的な雰囲気がよい」等の家族の声がある。 特に改善の余地があると思われる点 特にありませんが、近いうち木の香りと温もりが感じられる素敵なホームに引越しされるようです。入居者の皆様が1日も早く慣れられて、今までどおり穏やかで落ち着いた笑顔で、幸せな歳を重ねられますようなホームを築いてください。

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	個人の生活歴を職員が把握し、また心身の状態を理解することで個人の能力・尊厳の保持につながるよう職員が情報を共有することに努めている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	・老人保健施設との合同で行われる勉強会に参加し、職員のスキルアップに努力している。 ・認知症に関する理解を深めるように老人保健施設との事例検討会に参加している。 ・月1回定例会及び随時行われるカンファレンスにおいて職員が情報を共有し、日常業務の質の向上・維持に努めている。		